

施策分析シート（平成26年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
目的	文化創造都市を実現するために、伝統文化の継承や新たな文化の創造など地域、区民と一体となって荒川区の文化力の向上を目指す。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		23年度	24年度	25年度			
	地域への愛着度			2.93	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
	文化的寛容性			2.71	文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み		目標値 (28年度)
	あらかわキャラバン派遣団体数	2	3	3	3	4	交流都市に派遣した文化・芸術団体の数
	交流都市フェアでの荒川区の団体出演数	5	6	3	5	6	ステージ出演した荒川区の団体の数
	交流都市と相互交流した区民・市民等の合計	1,079	1,631	1,320	1,350	1,400	各課交流事業連絡書に記載の合計人数
	区民と外国人が相互交流する事業への参加者数	85	152	149	190	200	バスハイク・華道・茶道・着付・料理教室、ウィーン派遣高校生
	国際交流協会会員数	596	699	695	700	730	賛助会員数+協力会員数
現状と課題（指標分析）	<p>現在、国内外交流都市は30都市あるが、交流状況はさまざまである。交流状況に応じ、交流方法や事業内容を見直す必要がある。</p> <p>荒川区の文化や特徴をいかした交流を推進するために、芸術文化団体等の育成を図る必要がある。</p> <p>国際交流協会において、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、区内在住外国人に対する支援を充実させるとともに、区民に活動内容の周知や交流の機会を提供することで、相互理解を深めていく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>交流の主体は区民であることに留意し、各都市の意向や特性を把握して荒川区にはない文化や自然環境を区民に提供し、より豊かな区民生活の実現を目指す。</p> <p>荒川区の芸術文化団体を交流都市に派遣するだけでなく、区内のイベントでもより積極的に活用し、荒川区の魅力と活力を高める。</p> <p>国際交流協会における既存事業の内容充実や、イベントを通じた区民と区内在住外国人の交流の場を増やすことにより、国際交流事業の活性化を図るとともに、多文化共生社会の実現を目指す。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の各交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や区内における交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
国内都市交流事業	04-01-02	9,741	1,194	重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高める。
国際交流協会補助	04-01-03	4,636	4,005	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として区が重点的に支援することが必要である。
海外都市交流事業	04-01-04	9,479	8,581	重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。
あらかわキャラバン事業	04-01-08	1,127	884	推進	推進	芸術文化面で区を代表する個人・団体を交流都市に派遣し、交流促進とともに芸術文化振興を図る。
合 計		24,983	14,664			